

科目名	専門分野				ディプロマ・ポリシー(DP)	DP1 DP4	DP2 DP5	DP3 DP6
	臨地実習				担当教員	専任(基幹)教員		
	小児看護学実習							
履修学年	3年	履修学期	後期	単位数	2	時間数	95	
授業目標	<p>1. 子どもが健やかに育つために、子どもの健康と生活を守り支える看護実践能力を養う。</p> <p>2. 健康な児、疾病を持った児の健康を守りながら、成長・発達を支え促し続ける小児看護の意義を学ぶ。</p> <p>3. 健康な子どもの成長・発達を援助するプロセスから、看護師として病気の子どもの成長・発達を援助する意味を理解する。</p> <p>4. 健やかな子どもの成長発達過程とそのための子どもの人権を考慮した育成支援、地域における子育て支援を理解する。</p> <p>5. 子どもと家族の生命力の消耗を最小にすべく、日常生活援助などを介して子どもとその家族の看護を実践し、健康回復への援助を理解する。</p>							
授業計画 授業内容	<p>1) 保育園実習(2日間)</p> <p>方法: 保育園児の保育に参加し、乳幼児の身体的・精神的・社会的特性に応じた成長を育むかかわりの実際を知り、地域における子育て支援を学ぶ。</p> <p>場所: 社会福祉協議会 保育園 一般社団法人 唐津東松浦医師会 たんぼぼ保育園</p> <p>2) 子どもの発育支援実習(2日間)</p> <p>方法: 健やかな子供の成長発達を願う母子保健事業に参加する。 乳幼児の成長発達過程をサポートする保健師や母子推進委員らの活動を知り、母子地域包括支援センターの役割を学ぶ。</p> <p>場所: 唐津市健康サポートセンター 「さんて」</p> <p>3) 病児看護実習</p> <p>(1) 小児科外来実習(3日間)</p> <p>方法: 外来を訪れる子どもの診療の補助、検査・処置及び入院案内等の場に参加し、子どもの健康状態とその苦痛を理解しようとする。子どもと家族の苦痛を緩和しようとする医師や看護師らが実践する援助の実際を知り、小児科外来の特徴と看護師の役割を学ぶ。</p> <p>場所: 唐津赤十字病院(小児科外来)</p> <p>(2) 小児病棟実習(4日間)</p> <p>方法: 様々な病気や怪我で入院している急性期の時期の小児を受け持ち、病気や治療および環境の変化からくる様々な苦痛の緩和に向けて家族も含め援助する。 入院環境が子どもの成長発達を妨げないよう、発達課題に留意した支援を実践し、小児看護の意義を学ぶ。</p> <p>場所: 唐津赤十字病院(小児病棟)</p>							
評価規準 評価方法	ポートフォリオ・ルーブリック評価							
履修上の 注意点	実習の手引き・各実習要項参照							